

【上田女子短期大学の教員養成に対する理念】

本学は建学以来「敬愛、勤勉、聡明」という教育理念に拠って女子学生の高等教育にあたり、豊かな教養と深い専門知識、そして責任感を具えた堅実中正な社会的人格を有する女性の育成を行うことを教育目的としてきた。また、地域に根差した高等教育機関として地域の社会人をはじめとする人材育成を支援し、広く社会に貢献することを使命としている。

本学における教員養成も、この建学の精神・教育理念及び教育目的と使命に基づいている。本学の教員養成の理念は、「他者を敬い尊重する教師」「日々研鑽を重ね自己の能力を高める勤勉な教師」「広い知識と深い教養に裏付けられた実践的判断力を持つ聡明な教師」である。この理念のもと本学では、地域における女子教育の伝統を守りつつ、時代に応じた柔軟な変革を行うことによって、質の高い教員養成に取り組んでいる。

【教職課程設置の趣旨】

上記の理念のもと、幼児教育学科に幼稚園教諭二種免許状、総合文化学科に中学校教諭二種免許状(国語)の各養成課程を設置し、人格形成の基礎期にあたる教育に従事する教員を育成している。

【幼児教育学科（幼二種免）の教員養成に対する理念】

幼児教育学科は、保育に関する専門的な知識・技能の修得とともに、豊かな人間性の涵養を行い、地域社会の幼児教育に貢献できる女性を育成することを目指している。本学科における教員養成の理念は、「他者への感受性をもってコミュニケーションを図れる幼稚園教諭」「保育に関する基礎的な知識・技能を有し、子どもとともに学びを深められる幼稚園教諭」「音楽や美術、言語等、表現に関する深い理解及び高い技能を持ち、実践に活かすことのできる幼稚園教諭」である。これらは、本学科のディプロマポリシーにも対応している。

以上の理念に基づき、自然保育・福祉社会・表現文化の三つの系統において、学生が専門的な学びを深められるようカリキュラムを構成することによって、体系的な知識・技能の獲得を保証している。

【総合文化学科（中二種免（国語））の教員養成に対する理念】

総合文化学科は、国文科を前身とし、日本文学・日本語学を学びのベースとしている。そのベースの上に、本学科が用意しているさまざまな分野にわたるフィールドの学びを加え、多様化する教育現場の状況に対応できる教員の養成を目指している。本学科における教員養成の理念は、「ホスピタリティ精神に裏付けられたコミュニケーション能力を持つ教師」「幅広い教養に基礎づけられた『考える力』と『創造する力』を有する教師」「個性を十分に発揮するためのプレゼンテーション能力及び実践力を持つ教師」である。これらは、本学科のディプロマポリシーにも対応している。

特に本学科では、教職課程の学びに、図書館司書フィールドの学びを加えることで、学校図書館司書教諭の養成を行い、教育現場へのアプローチの仕方が多様なものになるように心がけている。